



↑中央図書館特別資料室で紹介されている。



久松潜一氏



久米常民氏

久松潜一氏は日本が誇る藤江出身の国文学者。万葉集の研究をはじめ、日本文学評論史の研究、国文学の普及、辞書の編纂などに力を尽くした。

また、晩年まで大先輩の育成に力を注いだ偉大な教育者でもあった。81才で没するまでに発表された著書、論文などは千篇を超える。

久米常民氏も同じく藤江出身の国文学者。東京帝国大学で久松氏の教えを受け、万葉集の研究し、多くの本や論文を残した。『ごんぎつね』などで有名な童話作家

新美南吉氏と中学時代の同級で親しく手紙のやり取りをしていた。久松氏、久米氏ともに、小中学校、高等学校の校歌を作詞し、子どもたちの健やかな成長を願った。



郷土の偉人を訪ねる

久松潜一・久米常民

年表

- 昭和 23 年 東浦町誕生
- 昭和 28 年 入海貝塚が国の史跡に指定
- 昭和 33 年 町章制定
- 昭和 34 年 伊勢湾台風
- 昭和 36 年 愛知用水完成
- 昭和 43 年 役場新庁舎完成
- 昭和 52 年 町の花・木制定
- 昭和 53 年 町営グラウンド完成
- 昭和 54 年 町民憲章制定
- 昭和 58 年 東浦文化広場・町体育館完成
- 昭和 61 年 南設楽郡鳳来町（現新城市）と姉妹提携
- 平成 元 年 東部知多クリーンセンター完成
- 平成 3 年 中央図書館完成
- 平成 5 年 福祉センター完成
- 平成 6 年 於大のみち完成、於大まつり開催
- 平成 7 年 武豊線高架化（JR 緒川駅完成）
- 平成 8 年 平成大橋開通
- 平成 11 年 東浦知多 IC 開通
- 平成 12 年 東海豪雨により森岡・緒川地区を中心に冠水被害
- 平成 13 年 町運行バス「う・ら・ら」運転開始
- 平成 15 年 子育て支援センター開設
- 平成 17 年 国際博覧会愛知万博開催
- 平成 18 年 五ヶ村合併、東浦誕生 100 周年
- 平成 19 年 新城市と姉妹提携
- 平成 20 年 人口 5 万人達成
- 平成 21 年 石川県野々市町（現野々市市）と災害時相互応援協定締結
- 平成 22 年 刈谷市・高浜市・知立市と定住自立圏形成協定調印
- 平成 23 年 東日本大震災被災地へ職員派遣
- 平成 24 年 事業仕分けを初開催
- 平成 25 年 東浦町町制 65 周年



↑第 1 回大会で東浦の最終走者がゴールする瞬間

平成 18 年、第 1 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が長久手市の愛・地球博記念公園で開催され、東浦町は 2 位の町に約 1 分の差をつけて町村の部で優勝した。



↑平成 25 年第 8 回大会で 4 連覇を果たした。

愛知県市町村対抗駅伝競走大会初優勝

2 位の町に約 1 分の差をつけて町村の部で優勝



おだいちちゃんはまだ 24 歳の於大まつりデビューを果たした。桜色のほつぺ。頭の



白い花飾りはウナナ。着物の柄は「HIGASHIURA」の「H」。平成 25 年 4 月 1 日には、東浦町特別住民票が交付され、今後のおだいちちゃんの活躍に注目されている。

おだいちちゃん誕生！

平成 25 年 4 月 1 日

東浦町特別住民票を交付

事業仕分け初開催

町が実施すべき事業が原点に戻り判定



平成 24 年 8 月、東浦町で初となる事業仕分けが開催された。町が実施している事業について、原点に引き戻り、町が実施すべき事業かなどを住民

目線で検証した。仕分けにより判定された結果は、予算編成をはじめ町行政にできる限り反映していく。



役場新庁舎完成

町制 20 周年目には、役場が現在地（緒川字政所 20 番地）に移転した。新庁舎が竣工した。総事業費は 1 億 9 千 9 百 70 万円で、高床式鉄筋コンクリート造で地上 3 階の建物で完成した。



昭和 23 年 6 月 1 日、東浦村が

町制を施行し、東浦町に

東浦工業団地進出企業決定

県企業局が衣浦工業地区整備事業の一環として藤江南東部地内に造成していた工業団地への進出企業が昭和 56 年決定した。町市街地内にあった中小工場が移転したり、木材、家具工業、車両・工作機械工業やプラスチック工業、窯業など様々な業種が集まり、東浦町工業再興の大きな機動力となった。



↑広報ひがしうら昭和 56 年 3 月 1 日号

明治 39 年に森岡村・緒川村・石浜村・生路村・藤江村の五ヶ村が合併し東浦村となり、昭和 23 年 6 月 1 日、戦後の極度の混乱と低迷が続くなか、人口 15、677 人、3、133 世帯の規模で町制施行した。昭和 27 年 8 月 1 日には広報東浦（現広報ひがしうら）創刊。平成 25 年現在第 1208 号。町制 10 周年目には、「ひ」の字を图案化し、躍進する東浦町を表した町章が制定された。



於大のみち・於大まつり

於大行列や水野家行列が行われる。



平成 6 年、明徳寺川沿いの遊歩道「於大のみち」が完成し、初の於大まつりが開催された。於大行列・水野家行列が盛大に行われ、東浦町の新しい春まつりが始まった。



特集………2 面

郷土の偉人を訪ねる
久松潜一・久米常民の足跡を辿る。



おすすめ
東浦観光協会認定の
推奨品を
ぜひどうぞ

平成大橋・東浦知多 IC 開通

東浦町と刈谷市の間にある境川を渡す平成大橋が平成 8 年開通した。これにより、東浦町と三河地



366 バイパス開通

大府市や豊明市へのアクセスが大変便利に



平成 23 年 3 月、国道 366 号半田大府バイパスが開通した。平成 12 年度から行われていた事業で、事業費は約 90 億円。森岡区間が新に開通し、岡崎線が新に開通式が行われた。これにより、大府市や豊明市へのアクセスが大変便利になり、産業振興を支えている。